

令和5年6月24日

## 令和5年度 第3回西宮市民ファミリーハイキング事業報告

奥アンツーカー株式会社

【実施日時】 令和5年6月10日(土) 10:00～13:00

### 【実施概要・コース】

令和5年度6月のハイキングは、紫陽花が見頃を迎える時期に合わせて、最終ゴール地点の森林植物園を目指して歩く約6.8kmの中級コースとして実施。神戸電鉄鈴蘭台駅を集合場所として出発し、ハチミツ製品の販売やカフェ・レストラン等がある神戸養蜂場で最初の休憩をとる。そのあと洞川湖沿いの緑に囲まれた道路を歩き、湖畔で2回目の休憩。さらに、学習の森の中に入り自然豊かな山道を登った後、神戸外国人墓地礼拝堂前を通過して、森林植物園西門から、紫陽花が咲き始めた園内に入園。青葉トンネルから長谷池を通り、カモシカ園やあじさい園を見学しながら正門付近にある「森のカフェ・森林展示館」を最終ゴール地点としました。解散後は、各自無料バス等の利用で最寄り駅まで向かいました。この日の参加人数は32名。全員無事帰路につくことができました。

神戸電鉄「鈴蘭台」駅前を出発後、地元の風景を楽しみながら住宅街等を散策しながら、神戸養蜂場を目指しました。養蜂場では、きれいな野外テラスで休憩がとれ、また販売所ではおいしそうなおパン屋やハチミツ製品がおかれており、参加の者の方も多数購入されていました。その後、「学習の森」へと歩き始めました。



### 見どころ1 神戸養蜂場

神戸養蜂場は、厳選した美味しいはちみつを中心に「身体に優しい」をテーマにした様々な商品が用意されています。また、カフェ&ダイニングでは、食べ放題のお野菜ピュッフェや、独自の石窯で焼き上げるピッツァなどバラエティ豊かなメニューを取り揃えており、国産はちみつでは非加熱はちみつを販売しています。

また、はちみつと一言で言っても、原材料は多岐に渡ります。同じ原料であっても、産地によって味は異なってくるそうです。風味の違いも楽しめるよう、神戸養蜂場では20種類以上のはちみつをラインナップしています。日本だけでなく、オーストリアやグアテマラなど、海外のものも厳選して揃えられています。コクを深く感じられるモミの木や、あっさりとしたアカシアなど、原材料による味の違いが楽しめるようです。 (参考: (神戸養蜂場HP <https://kobe38honey.com/> )

前日の雨の影響が山道に残っていないかが心配されましたが、地面がぬかるんでいたり、滑りやすいということもなくハイキングを続けることができました。外国人墓地が閉館していたのが残念でしたが、参加者の皆さん方は、口々に「こんな山道は、一人じゃ経験できない。団体で行動するからこそ安心できる。」等の感想をいただきながら歩くことができました。山道の途中、適切なタイミングでトイレ休憩をとることができなかったことが課題となって残りました。数名の方が、森林植物園西口に到着した時には疲れた様子が見受けられました。



## 見どころ2 神戸森林植物園

神戸市立森林植物園は、市街地から至近の六甲山地の一角に、自然を最大限に活用し、単なる見本園ではなく、生きた植物本来の姿を樹林としてご覧いただける、総面積 142.6ha の広大な植物園です。

園内には、約 1,200 種（うち約 500 種は外国産）の木本植物を中心に、北アメリカ産樹林区、ヨーロッパ産樹林区、アジア産樹林区、日本産樹林区（北日本区・照葉樹林区・日本針葉樹林区）といった原産地別に、自然生態を生かした樹林として植栽展示しています。

また「あじさい園」では、六甲山の幻の花といわれたシチダンカをはじめ、25 種 350 品種、約 5 万株を収集して植栽し、国内有数のアジサイの名所としてお楽しみいただけるほか、「つつじ・しゃくなげ園」ではツクシシャクナゲ、ホソバシャクナゲなど、37 種約 4 千株のシャクナゲやつつじをお楽しみいただけます。さらに秋には、ハナノキ、イロハモミジ、ハゼノキ、メタセコイアなど 38 種約 3 千本もの色とりどりの紅葉がくりひろげる金襴をお楽しみいただけます。

その他、神戸市との姉妹・友好都市提携を記念して、それぞれの国原産の樹木に建物を添えて演出したシアトル、天津、ブリスベン、リガ各都市の「国際親善の森」や、「さくら園」「はぎの小径」など四季の花を觀賞していただける花木園、多目的芝生広場やスポーツ広場もあります。

【開園年】 1940 年

【総面積】 142.6 ヘクタール

【植栽樹種】 約 1,200 種（うち外国産約 500 種）

【来園者数】 年間約 23 万人

（参考：神戸森林植物園 HP <https://rurubu.jp/andmore/article/17159>）



森林植物園西門から入園したのち、園内長谷池付近で、参加者の方々にご自身の体調を考えていただき、2 グループ（長い距離を歩ける方々とそうでない方々）に分けて行動してもらいました。ほとんどの方は日本カモシカ園とあじさい園を見学しましたが、数名の方はあじさい園のみ見学することになりました。

そのあと、全員正門付近に集合して解散となりました。解散後は、各自で昼食をとられる方、ソフトクリームを楽しむ方、さらには再び園内を見学される方等さまざまに森林植物園を堪能されていました。

帰路の案内として、以下の内容をしおりに載せ、参考にしてもらいました。



## 帰路のご案内

13:20、13:50、14:20、14:50、15:20、15:50・・・に、森林植物園正門発の無料バスがあります。

約 10 分で、神戸電鉄の「北鈴蘭台駅」に到着します。北鈴蘭台からの帰路は、以下の通りです。

北鈴蘭台－(神戸電鉄)－新開地(阪神電車、または阪急電車に乗り換え)新開地－(阪神電車特急で西宮まで、または、阪急電車特急で西宮北口まで、両方ともに約 1 時間半)

令和5年度 第3回ハイキング(神戸養蜂場、神戸森林植物園)の行程図 (地理院地図より)

